

令和2年4月12日

進級児保護者の皆様

幼保連携型認定こども園

川島こども園

教育・保育活動についてのアンケート結果のご報告

陽春の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より、当園の保育・教育活動にご理解とご協力をいただきまして、深く感謝申し上げます。

昨年度の保育・教育活動についてのアンケートにご協力いただきましてありがとうございました。ご意見いただいた内容につきまして園としての対応や考え方を以下のように示させていただきます。今年度の保育・教育活動に生かしてまいりたいと思います。

○ 園の取り組みに対しましてたくさんの温かいご意見をいただきました。励みになります。

未曾有のコロナ禍の中、先生方には、並々ならぬご尽力を頂きまして、大変感謝しております。お陰で、安心して娘をお願いでき、娘も毎日、楽しく園で過ごす事ができ、この一年間で、心も身体も、大きく成長する事ができました。ありがとうございました。次年度以降も、どうぞよろしくお願い致します。早くコロナが終息し、園での子供達の様子が沢山拝見できる日を、待ち望んでおります。

発表会の役決めでは、子どもたちのやりたい役を自由に選択させてもらったようで、本来登場しない浦島花子が登場したり、衣装や道具を話し合って作ったりと子どもたちの意見が尊重された発表になっていたのかなぁと思いました。発表会までの過程にお

いても学ぶ事が沢山あったのだらうと思うと、集団生活でしか学べない事を園で経験させてもらっているなぁと感謝の気持ちでいっぱいになりました。お祭りごっこも親は参加出来ず残念でしたが、子どもたちはお土産を嬉しそうに抱えて帰ってきました。とっても楽しかったのだらうなぁと思いました。コロナでイベントが中止になる中、楽しんでる様子を間近で見られない寂しさはありますが、お友達や先生との思い出が出来たので良かったなぁと思いました。こういう機会を大事にして頂きありがとうございます！

給食サンプルの SNS 利用などはとても良いと思います。

また、今年度の反省をもとに早速来年度は親子遠足を 5 月に組み込まれて、来年度もまだ同じ様な状況が続くであろう中親子共にコミュニケーションが取りやすくなり、その先も円滑に進む良いきっかけになると思いました。個人的には子ども達だけでなく、保護者同士もまた、保護者と先生方、全てにおいてコミュニケーションを取る事の重要性を実感した 1 年でした。

つぼみ組の連絡ノート、今なかなか保育園の状態が見えない中どんなことをしていたのか、子供の様子が見れるような内容でいつも帰宅後の楽しみです。忙しい中いつもありがとうございます。又、コロナの中色々な行事を行なうのも困難のなか、それでも開催できる様、対策を行いながら子供達の楽しみのため、その中で行っていただきありがとうございました。保護者としても、以前のように見たり、参加したいとも思ったりもしますが、今の子供達を見ていると保護者がいなくても子供達同士で考えたりしながら楽しんでいるなとも思いますし、先日の発表会のスライドショーやお迎え時にホールの窓に写真等あるだけでも充分いいと思います。ありがとうございました。

○ 17:30 頃の駐車場について

一部曜日で学童に通うお子さんや保護者の方々が帰りに駐車場エリアにたくさんの人数でかたまっており、こども園側の降園に学童さんのお迎えの集中する時間が重なるとお迎えがしづらい状況が続いています。低年齢児の園児だと駐車場内を荷物を持ち、子供を抱いての移動になりますので事故等も心配です。駐車もなかなか困難な状況が見受けられます。可能であればこども園降園用の駐車スペースを園側に一部で構いませんので、あらかじめこども園降園専用として確保していただくと助かります。

年度途中で保育時間を延長した保護者の皆様もあり、当初予定より 17:30 頃の駐車場の利用者が多くなっていたことを把握しきれておらず、ご心配をおかけしてしまい申し訳ございません。令和元年度に砂利駐車場を含めた分散駐車を実施していただきましたので、体操教室やダンス教室の先生方を通じて保護者の皆さまに同様の利用となるようお願いをいたしました。

新年度の 17:30 頃の駐車場の状況が把握でき次第、ご提案いただきましたこども園降園用の駐車スペースも検討してまいります。

○ 降園時の対応について

2 号さんという事もあって担任の先生と直接話す機会が少なく、先生がどういう人なのかや園で子供がどんな感じなのかなど、聞きたいことが聞けなかったのが残念でした。

当園では、0・1 歳児は毎日お便り帳を通じたやり取りを行っています。2 歳児以上は、言葉で伝えることの難しい保育内容をお子さんの様子を写真を交えてお伝えする、「思い出ファイル」をお渡ししています。令和3年度は研修等を通して内容面のさらなる充実を図ってまいります。

他にも、一斉降園のできる時間帯のみ保育教諭が直接お話をしておかえしをするということをしてきました。8時間以上育の保護者の皆様も担任の先生とお話しをしたいというお気持ちがあるのはお察しいたします。園としても対応を行いたい気持ちは同じですが、保育の制度及び労働法により限界があります。そのためには、国の保育士配置基準が変わることが必要です。現在より多くの職員で保育を行えるよう、保護者の皆さまのお声を国政にお届けください。

○ 子育ての支援の視点をもったお知らせについて

個人的に、園での保育状況をもう少し詳しく知れるといいなと思いました。(水泳ではビート板でバタ足してるとか、おにごっこにもいろんな種類があるよとか。)そういう内容にすることで、子育て支援の充実であったり、情報共有にも繋がるかなと思います。うめ・たけさんになると話してもくれますが、やはり全部ではないと思うので。

先述の通り、発達が様々ですので一樣の内容ではなく、お便り帳や思い出ファイルにて遊びを通した1人1人のお子さんの成長をお伝えしています。今年度は園だよりの他、3歳以上児につきまして、年4回程度クラスだよりに園でおこなっている遊びを通して平均的なその時期の子どもたちの姿をお知らせしていきます。なお、当園といたしましても、遊びの全て、毎日のお知らせということができましたら保護者の皆様とのよりよい情報共有につながると考えています。一方で、書類作成の時間も保育時間であり、子どもたちへの目が行き届かなくなるということ、保育者の長時間労働のさらなる助長につながる事(現在の国の基準では時間外労働を基本とした保育者の配置です)も懸念されます。理想は高く掲げながら運営してまいりたいと思いますが、限界がありますことに思いを馳せてくださいますと幸いです。

○ お手紙の印刷について

以前の仕様でも構わないので、ベースとなるお便り関係は印刷してほしい。

変更当初はご不便を感じる方もいらっしゃると思います。園だよりも記載しています通り、

① すぐに見返せる ② 配り忘れを防ぐ ③ 紙による感染症対策

他にも、小学生と違い、お手紙は一枚一枚折ってお便り帳に挿みこむという作業が必要となります。その間子どもたちへの安全配慮の目線が滞る可能性があります。

上記を理由といたしまして今後も原則といたしまして「**さくら連絡網**」を通じての配信のみとさせていただきます。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

なお、印刷を希望される方は、ご家庭での印刷機やコンビニエンスストア等での印刷サービスをご活用ください。

○ 退職する職員について

退職される先生は、3月頃におたより等で発表はされないのでしょうか？ 担任の先生やお世話になった先生には、子供達が、最後のお別れが出来ることを望みます。

お別れをしたいという温かいお気持ちに感謝申し上げます。当園では不安や動揺が伝わるため、職員の退職につきましては事前にお知らせするという事はおこなっておりません。**退職を問わず、「お世話になった」という思いは年度ごとに直接またはお便り帳を通してお伝えいただけますと励みになります。**